

# 県立高校の再編整備基本計画

(平成17年度～平成22年度)

平成19年12月変更

香川県教育委員会

## 目 次

趣 旨	1
1 学科の改編（全日制課程）	1
(1)新たな学科の設置	2
(2)既存学科の改編	2
(3)教育内容の充実	3
(4)学科改編の進め方	4
2 定時制課程、通信制課程の再編	5
3 学校の再編	6
4 中高一貫教育	6
5 再編整備の進め方	7
《 資 料 》	
1 香川県中学校卒業者数の推移	
2 地区別中学校卒業予定者数の推移	
3 公立高等学校学科一覧及び各学科の特徴	
4 県内高等学校及び高等専門学校配置図	

## 趣 旨

県教育委員会では、少子化に伴い、長期的な生徒減少期が継続する中で、すべての県立高校が活力に満ち、時代の変化や社会の要請に即した多様な教育を推進するため、「県立高校の再編整備基本計画（平成13年度～平成17年度）」（以下、「前期計画」という。）に基づき、県立高校の再編整備を進めてきた。

この前期計画に基づき、学校の再編については、平成14年10月に大川東高校の平成17年度からの生徒募集の停止を決定し、平成16年10月には、平成19年度に善通寺西高校のデザイン科を善通寺第一高校に、多度津水産高校の水産科を多度津工業高校にそれぞれ統合する「県立高等学校の再編整備実施計画」を決定した。また、学科の改編については、平成14年度に3校、平成15年度に2校で実施するとともに、平成16年6月に、平成17年度に実施する5校の学科改編を決定した。さらに、平成13年度に高松北高校に高松北中学校を、平成14年度に高瀬高校に高瀬のぞみが丘中学校を併設して中高一貫教育を導入した。

「県立高校の再編整備基本計画（平成17年度～平成22年度）」（以下、「後期計画」という。）は、こうした再編整備を継続して進めるため、平成17年度からスタートする「香川県新世紀基本構想」の後期事業計画に合わせ、平成22年度までの6年間を見通した県立高校の再編整備の方針を示すものである。その策定に当たっては、平成12年8月の「県立高校の学校・学科の在り方検討会議」の報告書の趣旨や考え方にに基づき、「県立高校の学校・学科の在り方評価委員会（平成16年9月1日設置）」からの意見も踏まえて検討を行った。

### 1 学科の改編（全日制課程）

情報化や国際化など変化の激しい今日の社会にあって、高校においては、こうした社会の変化に主体的に対応し、新しい時代を切りひらくことのできる心豊かでたくましい人間の育成等を図ることが必要とされている。また、高校は中等教育の最終段階として、進学や就職など一人ひとりの生徒の進路に極めて重大な影響を及ぼすものであることから、中でも人間関係を築く力やコミュニケーション能力、望ましい職業観・勤労観などを育成することが重要となっている。

加えて、高校への進学率が上昇するとともに、価値観が多様化する中で、生徒の能力・適性、興味・関心、進路等は極めて多様化しており、このような生徒の多様な実態に対応し、生徒がそれぞれの個性を最大限に伸ばすことのできるような県立高校の在り方が求められている。

こうしたことから、県立高校においては、時代のニーズに応じた教育内容の充実を図る観点や、一人ひとりの生徒の進路選択の幅を一層拡大する観点から、学科の改編を進める。

## (1)新たな学科の設置

### 情報科

情報通信社会の到来により情報や通信に関わる産業が急速に拡大する中で、特にソフトウェア等の開発やネットワークの設計・構築、管理・運営を担当するなどの高度な情報関連技術者の育成や新たな産業領域の形成に役立つ人材の育成が重要な課題となっている。

このような時代の進展や社会のニーズに対応するために、平成17年度に坂出商業高校に県下で初めて情報科を設置することとしている。

今後、さらに進展する高度情報通信社会を支える有為な人材を育成する観点や情報科を選択する機会を拡大する観点から、他の地区にも情報科を設置する。

### 福祉科

近年、生活水準の向上に伴う健康への関心の高まりや、生活様式・意識の変化により、国民の福祉ニーズは、高度化、多様化するとともに著しく増大しており、高齢者や障害のある人々等へのよりきめ細かな介護サービスに対応できる専門的な知識や技術を有する人材の育成と確保が不可欠となっている。

現在、本県では三木高校と飯山高校の総合学科・福祉関係系列において必要な教科、科目を選択し学習することによって、介護福祉士国家試験受験資格を取得することができる。

今後、地域の社会福祉の増進に寄与する人材を育成する観点や福祉に関する学習や資格取得の機会を拡大する観点から、福祉科を設置する。

## (2)既存学科の改編

### 総合学科

総合学科は、普通科目と専門科目にわたる幅広い選択科目の中から自分で科目を選択し学ぶ学科であり、生徒の個性を生かした主体的な成就感を体験させる学習や、将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習を重視した教育活動が展開されている。

本県では、三木高校及び飯山高校にそれぞれ設置しているが、今後、総合学科を選択する機会を拡大する観点から、観音寺中央高校に総合学科を設置する。

## 農業科

農業科においては、将来の農業従事者や農業関連産業従事者を育成する機能を重視しつつも、食料や環境に関する課題を主体的・合理的に解決する能力を育成する観点から再編整備を進めてきた。

平成17年度には、大川東高校の環境デザイン科の募集停止に伴い、石田高校の園芸科を園芸デザイン科に改編するとともに、高松南高校の2科を環境科学科に統合、農業経営高校の3科を農業生産科、環境園芸科、動物科学科にそれぞれ改編することとしている。

こうした農業科の再編整備の一環として、また、バイオテクノロジーなどの技術革新の進展に対応して、笠田高校農業科の学科改編を行う。

## 工業科

工業科においては、ほとんどが1小学科1学級となっていることから、生徒減少に対応するため、関連・類似の小学科を統合し、コース制を導入することによって教育内容を継承する再編整備を進めてきた。

こうした工業科の再編整備の一環として、高松工芸高校工業科の学科改編を行う。

今後とも、実践的な工業技術者を育成する機能を重視しつつも、基礎的・基本的な知識・技術の習得とともに、実践的な「ものづくり」の学習を通して、工業の発展に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育成する観点に立って、教育内容の充実を図る。

### (3)教育内容の充実

#### 普通科

普通科においては、平成17年度に丸亀城西高校で、従来の普通科にはない多様な科目を開設し、普通科目を中心として、職業に関する専門科目も選択して履修することができる総合選択制を導入することとしている。

今後とも、国語、数学、英語など普通教科・科目を中心に、基礎・基本を徹底し、自ら学び自ら考える力などを育成することにより「確かな学力」をはぐくむとともに、生徒の資質・能力を十分に伸ばし、生徒の多様な学習ニーズに対応できるよう教育内容の充実を図る。

## 水産科

瀬戸内海に面した利点を生かして、栽培漁業や資源管理型漁業等の担い手を育成する機能を重視しつつも、水産と海洋に関する幅広い教育を展開し、本県のみならず広く瀬戸内海の水産業・海運業等の発展に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育成する観点に立って、教育内容の充実を図る。

## 商業科

経済社会のグローバル化や世界的な規模の情報通信ネットワーク化の中、生徒の多様な進路希望に対応して、マーケティング能力、実践的な語学力、情報・会計リテラシーなどビジネスの基礎的・基本的な知識・技術の習得とともに、経済社会の発展に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育成する観点に立って、教育内容の充実を図る。

## 家庭科

少子高齢社会や男女共同参画社会が進展する中、生徒の多様な進路希望に対応して、保育や家庭看護と介護などに関する教育内容の充実を図るとともに、生活関連産業の高度化、サービス化、消費者ニーズの多様化等に対応できる創造的な能力と実践的な態度を育成する観点に立って、教育内容の充実を図る。

## 看護科

高齢化の進展や医療の高度化・専門化等に伴い、ゆとりある教育の中で確実に学ぶカリキュラムにより資質の高い看護師を育成する観点から、平成14年度に5年一貫の看護師養成課程を導入した。この制度の成果を検証しながら、専門的知識・技術に基づく豊かな人間性をもった看護師を養成する観点に立って、教育内容の充実を図る。

### (4) 学科改編の進め方

学科改編の実施に当たっては、上記(1)～(3)に掲げるものを基本としつつ、急速に変化する今日の社会情勢に応じて、適宜、内容を追加、変更するなど弾力的かつ柔軟な対応も必要である。

このため、上記の学科及びそれ以外の専門学科（英語実務科、美術科、音楽科、理数科、文理科）について、社会のニーズや中学生の志望動向を勘案し、情勢に応じて学科改編を進める。

## 2 定時制課程、通信制課程の再編

定時制課程及び通信制課程は、昭和23年の制度発足以来、主として働きながら学ぼうとする青少年に、後期中等教育の機会を保障する上で大きな役割を果たしてきた。近年、生徒数が減少する一方で、さまざまな就業形態や学習歴をもつ生徒が多く入学してきていることから、今後、勤労青少年が高校教育を受ける機関としての役割だけでなく、生徒の実態等に応じた新たな役割を果たすことが求められている。こうした状況を踏まえて、平成12年8月の「県立高校の学校・学科の在り方検討会議」の報告書では、今後の定時制課程の在り方について、情報化の進展に伴う専門教育の充実や単位制の導入、昼間授業の実施など弾力的な学習形態の実現を可能な限り早期に図ることが望ましいとされている。

現在、三木高校の定時制課程では、同課程単独で利用できる教室を有し、生徒の多様な学習ニーズに適切に対応できるよう、単位制の導入や始業前授業の実施により修業年限3年で卒業できるようになっており、比較的広い範囲から生徒が入学し、他校に比べ定員充足率も高くなっている。こうしたことから、今後、このような弾力的な学習形態を選択する機会を拡大していく必要性が高まっていると考えられる。

また、情報化の進展等に対応した専門教育の充実、多様な生徒に対応した教育課程の編成、部活動や学校行事の充実等を図るためには、一定の生徒数を確保することが必要である。

こうしたことから、次のことに取り組む。

### (1) 定時制課程

専門学科においては、近隣の同じ学科を統合し、専門教育のより一層の充実を図る。また、普通科においては、現在の配置状況のもとで、生徒の幅広いニーズに対応できるよう、学年による教育課程の区分を設けず、卒業までに一定数の単位を修得すれば卒業が認められる単位制を導入する。

志度高校商業科及び坂出工業高校工業科において、平成22年度からの生徒募集を停止する。

すべての普通科において、単位制の導入を平成21年度までに完了する。

丸亀高校普通科において、修業年限3年でも卒業が可能となるような教育課程を編成し、平成21年度入学生から適用する。

### (2) 通信制課程

現在の配置状況のもとで、より多くの生徒が学校行事などに参加できるよう工夫や、平日を利用した学習機会の拡充など、教育の充実に向けた取組みを推進する。

### (3) 年度途中の入学

定時制課程及び通信制課程における年度途中の入学について検討する。三木高校定時制課程においては、平成22年度までに導入する。丸亀高校定時制課程においては、単位制及び修業年限3年でも卒業が可能となるような教育課程を実施した後、できるだけ早い時期に導入できるよう検討を進める。

## 3 学校の再編

平成12年8月の「県立高校の学校・学科の在り方検討会議」の報告書では、1学年の学級数が継続して3学級以下になると見込まれる場合に、学校の再編を検討することとされており、この報告に基づき平成13年3月に策定した前期計画に沿って、これまでに大川東高校の平成17年度からの生徒募集の停止を決定し、さらに、平成19年度に善通寺西高校のデザイン科を善通寺第一高校に、多度津水産高校の水産科を多度津工業高校にそれぞれ統合する「県立高等学校の再編整備実施計画」を決定した。

平成22年度までの学校の再編については、今後の生徒数の推移や通学の便、専門学科の全県的な適正配置等の観点から検討した結果、現時点では更なる再編を行う必要はない見込みである。

平成23年度以降の学校の再編については、県内の中学校卒業予定者数が平成21年3月に9,200人程度となり、以後、平成30年までは概ね9,500人前後で推移すると見込まれるものの、一方では、生徒数の減少が継続して見込まれる地域もあることや、社会や産業界の動向、教育を取り巻く環境も大きく変化することが想定されることから、適切な時期に教育関係者や有識者等からなる検討会議を設置して検討を進め、遅くとも平成21年度末には新たな再編計画を策定する必要がある。

## 4 中高一貫教育

6年間のゆとりの中で、これからの社会において子どもたちに求められる資質を存分に伸ばす教育を行う観点から、平成13年度に高松北高校に高松北中学校を、平成14年度には高瀬高校に高瀬のぞみが丘中学校を併設して中高一貫教育を導入した。

中高一貫教育がスタートして4年目を迎え、県教育委員会では、「中高一貫教育校の在り方検討委員会」を設置し、その成果等について検証しているところである。

今後、同委員会での検討状況も踏まえながら、中高一貫教育について必要な改善を図ることとする。

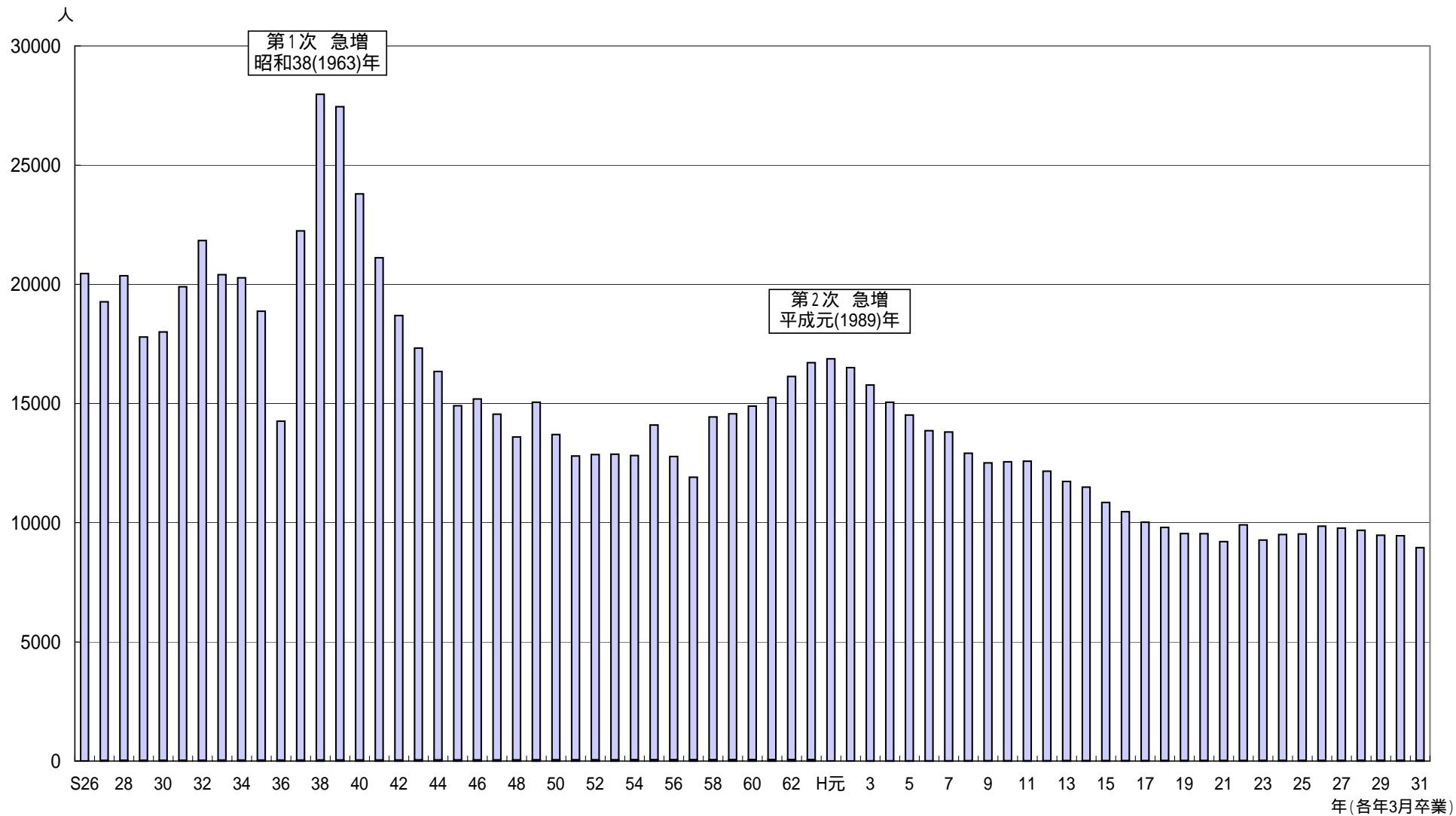
## 5 再編整備の進め方

本計画の実施に当たっては、生徒が適切に進路を選択できるよう、生徒や保護者、中学校関係者等に対し、その趣旨や再編整備後の教育内容等の周知に努めることとする。

## 資 料

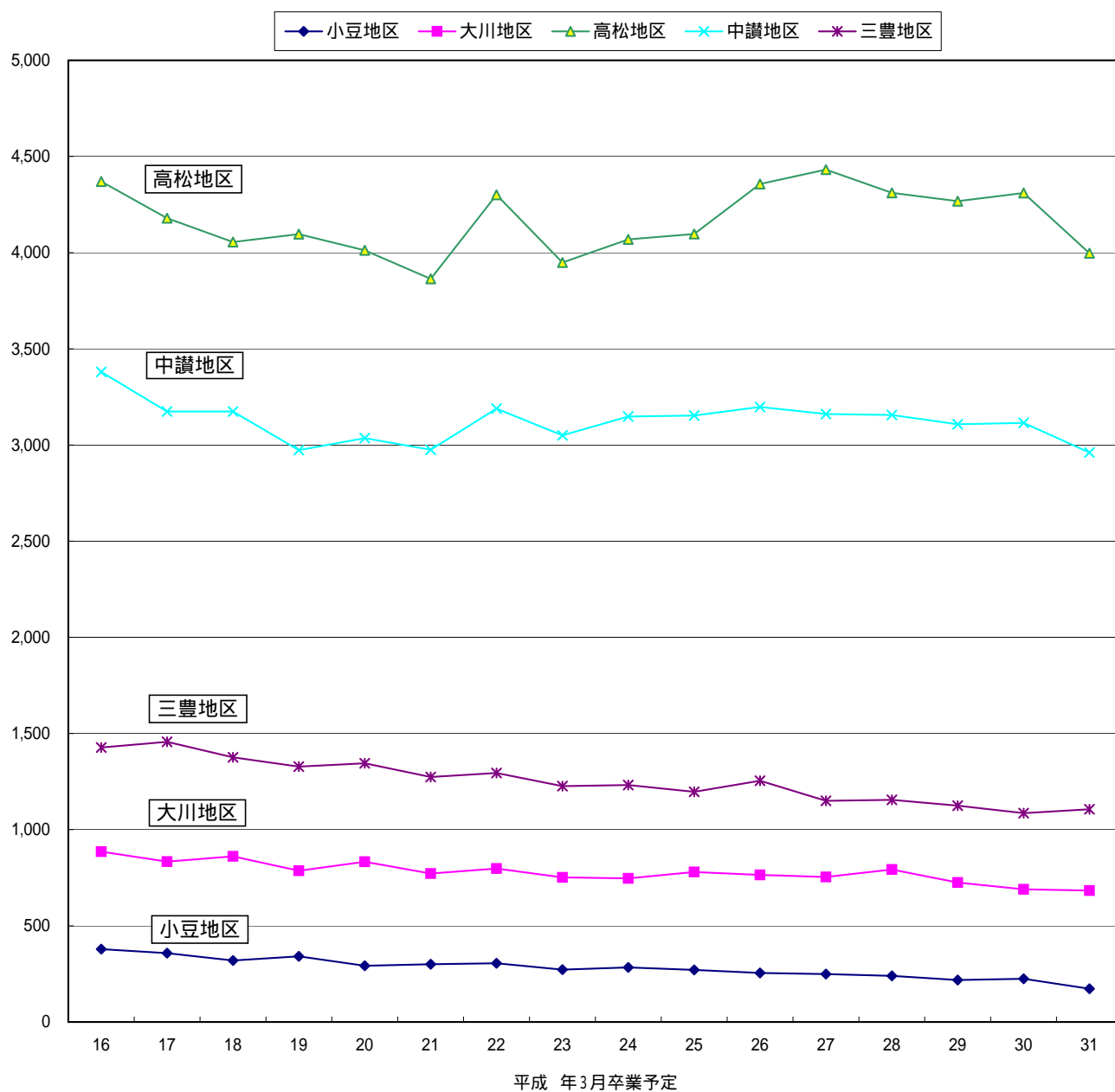
- 1 香川県中学校卒業生数の推移
- 2 地区別中学校卒業予定者数の推移
- 3 公立高等学校学科一覧及び各学科の特徴
- 4 県内高等学校及び高等専門学校配置図

香川県中学校卒業（H17以降はH16.5月現在の見込）者数の推移（学校基本調査等による）



### 地区別 中学校卒業予定者数の推移

年3月卒業予定	平成															
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
(平成16年5月1日現在)	(中3)	(中2)	(中1)	(小6)	(小5)	(小4)	(小3)	(小2)	(小1)	(5歳)	(4歳)	(3歳)	(2歳)	(1歳)	(0歳)	
小豆地区	379	358	320	341	292	300	305	272	284	271	255	249	240	218	225	173
大川地区	886	834	861	786	833	772	798	752	747	780	765	754	793	725	690	683
高松地区	4,370	4,179	4,055	4,096	4,012	3,864	4,301	3,949	4,069	4,097	4,357	4,432	4,311	4,268	4,310	3,997
中讃地区	3,380	3,174	3,174	2,973	3,036	2,975	3,189	3,050	3,148	3,153	3,198	3,161	3,156	3,108	3,115	2,961
三豊地区	1,427	1,457	1,376	1,328	1,345	1,274	1,295	1,226	1,232	1,197	1,254	1,150	1,155	1,125	1,086	1,106
全県	10,442	10,002	9,786	9,524	9,518	9,185	9,888	9,249	9,480	9,498	9,829	9,746	9,655	9,444	9,426	8,920
前年との比較		440	216	262	6	333	703	639	231	18	331	83	91	211	18	506



平成16年は平成15年度学校基本調査(H15.5.1現在)による  
 平成17年(中3)～平成25年(小1)は平成16年度学校基本調査(H16.5.1現在)による  
 平成26年(5歳)～平成31年(0歳)は各市町教委調査(H16.4.1現在)による

## 公立高等学校(全日制課程)学科一覧

(平成17年4月入学)

番号	学校名	普通	農業	水産	工業	商業	家庭	看護	情報	外国語	音楽・美術	理数・文理	総合	募集 学級数	地区
1	小豆島	普通												4	小豆
2	土庄	普通												5	
3	三本松	普通										理数		6	大川
4	大川東														
5	石田		生産経済 園芸デザイン 農業土木				家政							4	
6	志度				電子機械 情報科学	商業								4	
7	津田	普通												4	
8	三木											文理	総合	4	高松
9	高松北	普通												6	
10	高松	普通												8	
11	高松工芸				機械 電子機械 電気 工業化学 建築 デザイン 工芸						美術			9	
12	高松商業					商業 情報処理				英語実務				8	
13	高松東	普通												7	
14	高松南	普通	環境科学				家政	看護						8	
15	高松西	普通												7	
16	高松桜井	普通												6	
17	香川中央	普通												7	
18	農業経営		農業生産 環境園芸 動物科学 食農科学											4	中讃
19	坂出商業					商業 情報処理			情報技術					5	
20	坂出	普通									音楽			8	
21	坂出工業				機械 電気 化学工学 建築									4	
22	丸亀	普通												7	
23	飯山							看護					総合	5	
24	丸亀城西	普通												5	
25	善通寺第一	普通												5	
26	善通寺西				デザイン		生活文化							3	
27	琴平	普通												6	
28	多度津工業				機械 電気 土木 建築									4	
29	多度津水産			海洋技術 海洋生産 海洋工学										3	
30	高瀬	普通												4	三豊
31	笠田		生産経済 園芸 食品化学				家政							4	
32	観音寺第一	普通										理数		8	
33	観音寺中央	普通				商業	食物							7	
34	三豊工業				機械 電気 電子									3	
募集学級数県立合計		108	11	3	22	15	7	2	1	1	2	4	6	182	
学校数県立合計		19	4	1	6	4	5	2	1	1	2	3	2	34	
高松第一		普通									音楽			8	高松
募集学級数公立合計		115	11	3	22	15	7	2	1	1	3	4	6	190	
学校数公立合計		20	4	1	6	4	5	2	1	1	3	3	2	35	

## 公立高等学校(定時制課程・通信制課程・専攻科)学科一覧

(平成17年4月入学)

番号	学校名	定時制課程			通信制課程	専攻科		地区
		普通	工業	商業	普通	看護	水産	
1	小豆島	普通						小豆
2	土庄	普通						
3	三本松	普通						
4	大川東							大川
5	石田							
6	志度			商業				
7	津田							
8	三木	普通						高松
9	高松北							
10	高松	普通			普通			
11	高松工芸		機械 建築 インテリア					
12	高松商業			商業				
13	高松東							
14	高松南					看護		
15	高松西							
16	高松桜井							
17	香川中央							
18	農業経営							中讃
19	坂出商業							
20	坂出							
21	坂出工業		機械 電気					
22	丸亀	普通			普通			
23	飯山					看護		
24	丸亀城西							
25	善通寺第一							
26	善通寺西	普通						
27	琴平							
28	多度津工業		機械 電気					
29	多度津水産						漁業 機関	
30	高瀬							三豊
31	笠田							
32	観音寺第一	普通						
33	観音寺中央							
34	三豊工業							
募集学級数県立合計		8	7	2	—	2	1	
学校数県立合計		8	3	2	2	2	1	
高松第一								
募集学級数公立合計		8	7	2	—	2	1	
学校数公立合計		8	3	2	2	2	1	

## 各学科の特徴

### [ 普通科 ]

大学科	普通科
-----	-----

普通科は、3年間を通して、特定の専門分野に偏らない普通教育に関する教科・科目を中心に、各学校が定めた教育課程にしたがって、必修または選択の形で学習します。

普通科への進学を希望する生徒の多様な特性（能力・適性、興味・関心等）に対応して、特色ある類型（国際コミュニケーション類型、国際類型、国際文化類型）を設置している高校があります。

### [ 専門学科 ]

大学科	農業科
-----	-----

農業科では、農業のいろいろな専門分野における必要な知識と技術を座学、実験・実習などを通して学習し、将来農業を営んだり、農業関連の産業に従事する将来のスペシャリストを養成することを目標としています。

#### 【取得できる資格等】

測量士、測量士補、危険物取扱者、毒劇物取扱者、ガス溶接技能者、アーク溶接技能者、土木施工技術者、造園技能士、簿記、トレース技能検定、フォークリフト、クレーンなど

大学科	工業科
-----	-----

工業科では、普通教科・科目とともに工業の各分野の基礎的・基本的な知識・技術を専門教科・科目での体験的活動を通して習得し、将来、あらゆる産業の分野で活躍できる技術者になることを目標としています。

#### 【取得できる資格等】

ボイラ技士、ガス溶接技能者、危険物取扱者、自動車整備士、電気工事士、情報技術検定、計算技術検定、トレース技能検定、製図検定、電気主任技術者、土木施工技術者、建築施工技術者、システム・アドミニストレータ、レタリング技能、カラーコーディネーターなど

大学科	商業科
-----	-----

商業科では、職業人としての一般教養を身につけるとともに、ビジネスに関するスペシャリストとして必要な知識・技術を習得します。また、さらに上級学校を目指す人には、進学コースが用意されており、取得した資格を生かした入試制度や商業科卒業生の特別選抜制度などを活用して、大学等の進学にも対応しています。

#### 【取得できる資格等】

販売士、簿記、珠算、電卓、ワープロ、英語、情報処理、基礎情報技術者、秘書技能検定、システム・アドミニストレータなど

大学科	水産科
-----	-----

水産科では、将来、水産業や水産関連の産業などに従事する職業人として必要な水産の各分野の基礎的・基本的な知識と技術を学びます。

【取得できる資格等】

海技免状、小型船舶操縦士、無線従事者、食品衛生責任者、ボイラ技士、危険物取扱者、潜水士、ガス溶接、フォークリフト、玉掛け、アーク溶接、高等学校栽培漁業技術検定、情報通信技術検定、高等学校食品技能検定、エンジン技術検定など

大学科	家庭科
-----	-----

家庭科では、普通教科・科目とともに家庭生活の各分野に関する知識・技術を実験・実習を通して学習し、家庭生活及び関連する職業に必要な能力と主体的・実践的態度の習得を目指します。

【取得できる資格等】

調理師、全国高等学校家庭科技術検定（食物調理、洋服、和服）、ファッションコーディネーター色彩能力検定、秘書技能検定、ワープロ実務検定など

大学科	看護科
-----	-----

看護科では、普通教科・科目とともに看護に関する知識・技術を習得し、看護職に従事する者として必要な能力と実践的な態度を身につけます。

【取得できる資格等】

看護師

大学科	情報科
-----	-----

近年、社会における情報化は想像を超える規模、速度で進展しています。様々な情報が世界的規模で交換される高度情報通信社会を迎え、情報や通信にかかわる産業も急速に拡大しています。そこで、情報科では、情報を活用する上での基礎的・基本的な知識や技術を習得すると同時に、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を駆使した実習等を通して創造的で豊かな感性を養います。

大学科	理数科
-----	-----

理数科では、高等学校教育を通して調和のとれた一般的な教養を高めるとともに、自然科学及び数学に関する内容を深く学習し、事象を科学的、数学的に考察し、処理する能力を高め、創造的な能力や探求的な態度を身につけます。

大学科	音楽科
-----	-----

音楽科では、高等学校教育を通して調和のとれた一般的な教養を高めるとともに、音楽に関する内容を深く学習し、豊かな表現力と創造性とを自分のものとすることによって、音楽文化の発展に寄与するために必要な能力と態度を身につけます。

大学科	美術科
-----	-----

美術科では、高等学校教育を通して調和のとれた一般的な教養を高めるとともに、美術に関する内容を深く学習し、豊かな表現力と創造性を養い、美術文化の発展に寄与するために必要な能力と態度を身につけます。

大学科	外国語科
-----	------

外国語科では、高等学校教育を通して調和のとれた一般的な教養を高めるとともに、英語及び英語を使用する実務に関する知識や技術を習得し、英語を活用する業務に従事するために必要な能力と態度を身につけます。

大学科	文理科
-----	-----

文理科では、高等学校教育を通して調和のとれた一般的な教養を高めるとともに、言語、文化及び自然科学に関する内容を興味・関心に応じて深く学習し、自ら学ぶ意欲を高め、創造的な能力や探求的な態度を身につけます。

## [ 総合学科 ]

大学科	総合学科
-----	------

総合学科は、学びたい科目を自分で選択できるように、普通科でも専門学科でもない新たな学科として誕生しました。

総合学科では、学校が決めた時間割に従って、一斉に同じ授業を受けるのではなく、必修科目等以外は、自分の受ける授業を自分で決めることができます。進学を目指す人も、就職を希望する人も自分の興味・関心や希望に応じて、一人一人の能力を伸ばすことができます。

( 中学校3年生への高校紹介冊子「香川の高等学校」より抜粋 )

# 県内高等学校及び高等専門学校配置図 (平成17年3月)

